

音楽学校に進むといっても、どこへ入れるか松田先生と相談し、国立音楽学校の師範科を受験することにしました。先生のレッスンを急遽受け、列車の切符をやっとの思いで買い、東京に行き受験しました。すると合格したものですから、すぐに上京しました。

しかし、戦況はいつそう厳しくなっており、東京は連日B29(※22)の爆撃にさらされており、大変な状況になっていました。

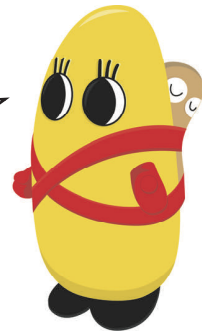
※22 B29

おおがたせんりやくばくげきき
ボーイングB-29大型戦略爆撃機。

いちおう むさし こがねい
一応東京の武蔵小金井に下宿(※23)し、学校に通いましたが、
勉強どころではなく、生きるか死ぬかわからない状態になっ
ていました。

ひっしょう きねん がくだん
そんな中、学校は必勝を祈念して(※24)学生の楽団(※25)を
ぐんじゅ いもん
つくり軍需工場(※26)を慰問(※27)してまわりました。

本格的に音楽の勉強したかった
けど、戦争でそれどころじゃな
かったんだMO～。



※23 下宿

つきぎ けいやく まが
月極めの契約で部屋を間借りさせること。

※24 必勝を祈念して

しょうり なら よ きがん
勝利やそれに並ぶ良いことが起こることを祈願すること。

※25 楽団

だんたい
音楽をする団体。

※26 軍需工場

へいき ばくやく こうくうき ぐんじ ひつよう ぶっし せいさん しゅうり
兵器・爆薬・航空機など軍事に必要な物資を生産・修理する工場。

※27 慰問

いもん
見舞ってなぐさめること。